

放送大学スペシャル講演会の開催

12月3日(土)16時00分から、山梨県立図書館2階多目的ホールを会場に放送大学スペシャル講演会を山梨県立図書館との共催、山梨県教育委員会及び甲府市教育委員会の後援により開催しました。同講演会は、放送大学学習センター所長が退官にあたり、その専門分野について講演したものをBS231ch放送番組として放映されるものです。放送大学学生だけでなく、広く一般市民の方にも公開し、23名の参加がありました。収録した講演の放映開始日は、判明次第ご案内いたします。

講演会冒頭には、村松山梨学習センター所長の主催者挨拶と講師紹介があったのち、山梨県立図書館清水副館長にご挨拶をいただきました。

講演は、平山公明 山梨学習センター前所長が、「河川の水質調査が語るもの」と題して、1971年から2000年にかけて甲府市の委託により行った、河川水質測定と下水道普及による水質変化についてお話されました。市内河川の水質は向上したが、当該河川の上流部の水質まで至っていないとのまとめに、参加者は、インフラ整備による改善だけでは水質改善がなされないことを感じられていました。



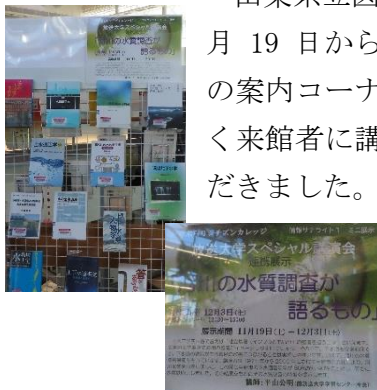
主催者挨拶の村松所長（左）と
清水副館長（右）



講演する平山 前所長

参加者からは、「長い年数を経ての調査に基づき、下水道というインフラ整備の重要性を感じました。」「甲府の水質がきれいになっているが、まだきれいになり切れていないことが残念に思う。河川を汚さないよう気をつけようと思った。」などの感想がありました。また、調査当初の1970年代はパソコンの普及途上あり、手作業によるデータ処理等大変であったのではとのお声もいただきました。

山梨県立図書館様には、今回も11月19日から館内において関連図書のご案内コーナーを開設いただき、広く来館者に講演会の案内に協力いただきました。



講演会関連図書案内コーナー



収録の様子



講演会の様子



講演会場での案内